



毎日を、わたしらしく

障がいがある方・ない方が互いに支え合い、だれもが自分らしく、安心して暮らし続けられるまちの実現に取り組んでいます。

支え合い認め合うまち、いたばし

問 合

- 障がい者の就労支援について…
障がい政策課自立支援係 ☎3579-2089 ☒3579-4159
- パラスポーツ振興について…
スポーツ振興課事業推進係 ☎3579-2652

区では、障がいがある方・ない方のだれもが、自分らしく暮らし続けられるまちの実現に取り組んでいます。今回は、障がいを自分の特性として捉え、就労・活躍をしている2名にお話を伺いました。この機会に、私たちも身近な気づきに、目を向けてみませんか。

挑戦できるのは 周りの支えがあるから

interview 1

大和 良子さん

PROFILE
就労移行支援事業所での就労訓練・支援を受け、カタログギフトなどを扱う株式会社ハリカで事務員として働く。

—現在の仕事内容と、就労までの経緯を教えてください。
仕事内容は事務作業で、郵便物の仕分け作業や伝票処理など、苦手なパソコンに触れながら頑張っています。事務の仕事は全くの未経験でしたが、上司から手取り足取り教わりながら、段々と仕事を覚えています。

姿に、自分も刺激を受けました。就労移行支援事業所の支援員からアドバイスを受けながら、一緒に求人を探しました。
—就労によって、何か変化はありましたか？
同じ障がいがある仲間や支援してくださる人としか触れていなかった私にとっては、視野が広がる経験でした。例えば、仕事でミスをしたら、私は一日中落ち込んでしまったり、感情の制御がうまくできずに上司の前で泣いてしまったりしたこともありました。ただ、同僚や上司はミスをしても、うまく気持ちを切り替えて次に進むことができます。そうした様子を身近に感じられるのは、生活の中に仕事の間があるからだと思います。

—自分らしく暮らすために何が必要だと思いますか？
何かに挑戦するとき、応援しえてくれる人がいることです。



株式会社ハリカの正面入口にて

私にとって就労は新たな挑戦で、やらないで後悔はしたくないと思っていました。板橋にはたくさんの仲間がいて、失敗したり傷ついたりしても、支えて

もらえる安心感があるから、次のステップをめざすことができるとしています。こうした場所が、だれにでもあればいいと思います。



就労移行支援事業所の支援員より

障がいがある方の就労訓練・定着支援などを行っています。支援を受ける方の障がい特性・年齢・性別などは様々です。就職後も月に一回以上、定期的な面談などを行いながら、ご本人・企業様が安心できる環境を考えて、支援しています。



株式会社ハリカ 人事担当より

最初に障がいがある方を雇用する際は、本当に受け入れができるのかなど、社内で議論もありました。しかし、就労移行支援事業所の見学などを通じて、仕事の技術の面では問題なく、我々も学ぶところが多いのではと雇用を始めました。これまでに大和さんを含めて5人を採用しました。
障がい者雇用により出すことで、会社としては従業員の個別の事情などにも対応できる雰囲気になりました。障がい・個性はもちろんのこと、子育て・介護などの家庭の事情など、従業員一人ひとりに様々な事情があります。そうした違いを認め、お互いのできることを融通し合う雰囲気を生み出したことは、とても大きいと思っています。



社長を囲んで社員のみなさんと

「いつもどおり」が 自分をもっと強くする

interview 2

森 宏明さん

PROFILE
北京2022パラリンピック冬季競技大会ノルディックスキー男子出場 板橋区スポーツ大使 株式会社朝日新聞勤務



写真：MA SPORTS / アフロ

区立体育館などでトレーニングを重ねています



UEMURA MEMORIAL KAGA SPORTS CENTER



—競技との出会いを教えてください。

幼い頃から野球をやっていましたが、高校2年生のときに交通事故に遭い、両足を切断しました。その後、2017年にノルディックスキーと出会い、パラリンピック冬季競技大会の出場をめざすことになりました。

—競技を始めてみて、新たな発見などはありましたか？

競技そのものの難しさ・過酷さもありますが、同時に大変なのが、生活環境の問題です。そもそもウィンタースポーツなので、雪国でトレーニングを行います。義足で生活している者にとっては、路面が凍ることは命にも関わる問題で、生活環境が変わることは非常に厳しいです。初めは不安が大きく、ためらいもありましたが、しっかりと対策を立てながら、徐々に適応できました。生活環境が変わっても、いつもどおり暮らしていく自信がついたと思います。



—自分らしく暮らすために何が必要だと思いますか？

「いつもどおり」という意識だと思います。事故で両足を失いましたが、失う前と後で変わらず接してくれた人たちのおかげで、私は自分のままでいられます。障がいがあるからあの人は「大変なんだ」とか、反対に「すごいんだ」とか、そういう特別視はむしろその人らしさを遠ざげると 생각합니다。例えば、電車で体調が悪くなった人を助けるように、特別ではない「いつもどおり」の助け合いがあれば、だれもが自分らしく生きていけるのではないのでしょうか。その意味で、地域社会がある板橋には、特別ではない「いつもどおり」の助け合いがあると思います。お互いに、どういう人が住んでいるのかというところがよく見えるまちです。

—板橋区スポーツ大使として、どのような活動をしたいですか？

私はこれまで、自分の経験を語ることにあまり興味がなかった部分があります。しかし最近、なるべく多くの人に自分の経験を伝えていこうと考え方が変わってきました。例えば、私と似た境遇の人に向けて、一緒に頑張ろうと伝えることも重要です。しかし同時に、障がい者が身近でない人たちにに向けても、私から見える社会を伝えていく必要性を感じています。それぞれ別の暮らしを送る人同士をつなげるには、この両輪が必要です。孤立や断絶といった言葉をよく目にしますが、みんなが自分の言葉で自分のことを話すことで、つながりを感じられる場や機会をつくってほしいと考えています。

障がい者就労支援センター ハート・ワーク

障がいがある方を対象に、それぞれの適性・能力に応じた就労ができるよう、職業相談・紹介、就労訓練、職場定着などの就労支援を行っています。また、ペーカリーカフェ「HeartWork こすもす」では、就労体験実習も行っています。
※障がい者雇用事業主の相談も受け付けています。詳しくは、お問い合わせください。



▶ ところ・問 = 障がい者就労支援センター ハート・ワーク(前野町4-16-1おとしより 保健福祉センター内) ☎3968-9900 ☒3968-9966(土曜・日曜・祝日休み)

パラスポーツと板橋区

区民のパラスポーツに対する関心を深め、スポーツ振興を図るため、パラスポーツ体験会・パラリンピアントークショーなどを実施しています。
また、4月には、区にゆかりがあるパラリンピアン3名を、板橋区スポーツ大使に委嘱しました。



板橋区スポーツ大使委嘱式



※新型コロナウイルス感染症の影響で、記事の内容が中止・変更になる場合があります

第45回 板橋農業まつり

成長する楽しさ・収穫する感動。いたばし野菜

11月12日(土) 11時30分～16時
13日(日) 10時～15時
 赤塚体育館通り周辺

板橋の農業を身近に感じ、親しんでいただくため、区内産の新鮮な野菜・果物の展示・販売、区民農園収穫祭などを行います。ぜひ、お越しください。

問 合 赤塚支所都市農業係 ☎3938-5114

◆印の催しは雨天中止・◇印の催しは雨天実施

第1会場 赤塚体育館通り

12日

- ◇組太鼓…12時45分～13時
- ◆オープニングパレード◇開会式…13時～13時25分
- ◆赤塚城戦国絵巻武者行列・西洋流火術鉄砲隊保存会演武…13時25分～13時45分
- ◆民踊流し…13時55分～14時55分
- ◆阿波踊り…15時10分～16時

13日

- ◇組太鼓…9時45分～10時
- ◆木やり…10時～10時30分
- ◆音楽パレード…10時30分～11時
- ◆大江戸ダンス…11時10分～11時30分
- ◆チンドン流し…11時40分～12時15分



第2会場 赤塚体育館

12日・13日

- ◇野菜宝船の展示
- ◇農業祭共進会…野菜・果樹・園芸花木の展示
- ◇板橋のさつき展示
- ◇郷土資料館による企画展示
- ◇各種販売・PRコーナー
- ◇緑化推進・食育推進・健康づくりコーナー
- ◆お子さん向けポン菓子作り・たこ作り体験・工作コーナー

12日

- ◆ダンス…13時50分～15時10分
- ◇組太鼓…15時20分～15時50分

13日

- ◆板橋の郷土芸能大会…徳丸北野神社獅子舞保存会・徳丸四ツ竹踊り保存会・大門餅つき保存会・神田流神明囃子保存会・相模流萩原由郎社中(10時～12時40分)
- ◆楽器演奏・ダンス…高島平交通少年団・赤塚体育館ダンス教室(13時10分～14時50分)

第3会場 赤塚小学校

12日・13日

- ◇各種販売・PRコーナー…区内産新鮮野菜・果物、志村みの早生大根、板橋のいっぴん、植木市、復興支援、都市交流、官公庁など

※会場での飲食は、飲食エリアでお願いします。

第4会場 農業体験農園

13日

- ◆区民農園収穫祭・表彰式…11時40分から

交通案内

- 東武東上線「成増」下車15分
- 東武東上線「成増」北口から「赤羽駅西口」行きバス「赤塚小学校」下車
- 都営三田線「志村三丁目」北口から「成増駅北口」行きバス「赤塚小学校」下車
- 都営三田線「高島平」西口から「成増駅北口」行きバス「上赤塚交番」下車

交通規制にご協力をお願いします

▶とき＝11月12日(土)12時～17時頃・13日(日)9時～16時30分頃※規制区域内は車両通行止め。第1会場は自転車・ベビーカーの乗り入れ、その他周辺道路は一般の自動車・自転車駐車禁止。自転車置き場をご利用ください。

感染防止にご協力をお願いします

新型コロナウイルスワクチン相談窓口

板橋区新型コロナワクチン
コールセンター
☎0120-985-252
(9時～18時)

発熱・呼吸器症状などがある場合

板橋区新型コロナ
健康相談窓口
☎4216-3852
(平日、9時～17時)

東京都発熱相談センター
☎6258-5780
☎5320-4592
(いずれも24時間)

東京都発熱相談センター
医療機関案内専用ダイヤル
☎5320-4327・☎5320-5971・
☎5320-7030(いずれも24時間)

区制施行90周年 記念ロゴマーク

